

2022年度版県内内規（中学校女子）

群馬県中体連体操競技部 R4年度（2022・4月～）

*2022年版採点規則「変更規則I」を基本として、以下のように群馬県内規として採用する。

《短い演技》→変更なし

*演技の実施と芸術性の減点がなされるEスコアの最高点は以下の通りとする。

10.00	もし6技以上の実施であれば
6.00	もし5技の実施であれば
5.00	もし4技の実施であれば
4.00	もし3技の実施であれば
3.00	もし2技の実施であれば
2.00	もし1技の実施であれば
0.00	もし技の実施がなければ

《A難度として認められる要素》

*以下の要素は1技として数えられるが、構成要求、組み合わせ点、シリーズボーナスには使用できない。また、平均台において横向きでのジャンプを実施しても1つ高い難度点は与えられない。

◎平均台

- ・伸身とび
- ・かかえ込みとび
- ・前転
- ・後転

◎ゆか

- ・前方倒立回転
- ・側方倒立回転
- ・後方倒立回転

《一般欠点と減点表》

*前向きでない構成（段違い平行棒、平均台、平均台、ゆか） -0.10/0.30/0.50

《終末技》（段違い平行棒、平均台、床共通）

*実施された終末技によって、以下の加点を与える。

*加点はDスコアに加算される。

*大過失のある実施にも加点が与えられる。

変更規則 I		群馬県内規	
		Aの終末技	+0.30
Bの終末技	+0.30	B以上の終末技	+0.50
C以上の終末技	+0.50	<u>C以上の終末技</u>	<u>+0.70</u>
<u>D以上の終末技</u>	<u>+0.70</u>		

《跳馬》

*選手が跳躍板や機会に触れていなければ、3回の助走が許される。

（余分な助走の減点は適用されない）

*2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。（余分な助走の減点は適用されない）

種目特有な実施減点 ※グループ1の跳躍技のみに適用

- | | | |
|--------|--------------|-------------------------|
| 指示局面 | ・支持が長い | -0.10/0.30/0.50 |
| 第2空中局面 | ・ダイナミックさに欠ける | -0.10/0.30/ <u>0.50</u> |

《段違い平行棒》

変更規則 I	
1	高棒から低棒へ移動する空中局面を伴う技
2	<u>空中局面を伴う技（構成要求 1 とは兼ねられない、終末技を除く）</u>
3	異なる握り（後ろを振り上げ、開始技と終末技を除く）
4	360 度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技（開始技を除く）

《平均台》

	変更規則 I	群馬県内規
1	180 度開脚（前後または左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを 1 つは含む、少なくとも 2 つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ	
2	ターン（グループ 3） <u>または接転系の技／旋回</u>	
3	<u>1 つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも 2 つの技からなるアクロバット系シリーズ（同一技でもよい）</u>	空中局面を伴うアクロバット系の技
4	方向の異なる（前方／側方と後方）アクロバット系の技	

《ゆか》

	変更規則 I	群馬県内規
1	180 度の前後左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を 1 つは含む 2 つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）組み合わせでの移動	
2	ひねり（1 回ひねり以上）を伴う宙返り	ひねり（1 / 2 回ひねり以上）を伴う宙返り
3	2 回宙返り <u>または 2 つの異なる宙返りを含む 1 つのアクロライン</u>	
		1 つの宙返りを含む方向の異なる 3 つのアクロバット系シリーズ
4	同じまたは異なるアクロラインで後方宙返りと前方宙返り（片足踏み切りの宙返りは除く）	

《平均台、ゆか共通》芸術性と構成の減点

- * 身体の姿勢が悪い（頭部、肩の位置、胴体） -0.10 / 0.30
- * 大きさが不十分（身体を最大限に使った動き） -0.10 / 0.30
- * つま先が伸びない / 足が緩む / 足が内向き -0.10 / 0.30

《外部指導者について》

県内大会においては、大会役員や審判にあたる顧問がフロアにおりると大会運営に支障をきたすため、生徒のみがチームリーダーを務めることとする。顧問、外部指導者は、1 種目目のあいさつとともに会場から退席する。

ただし、選手の安全確保のため、段違い平行棒に限り、外部指導者の会場入りを認める。